

材料工学委員会・総合工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：将来展開分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○材料工学委員会 総合工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>科学技術のあり方の議論において、真理の探究を通じた社会への貢献に加え、昨今の国際情勢を背景に、先端科学技術、新興科学技術の用途の多様性、あるいは両義性の考慮が必要となっている。</p> <p>科学技術のあり方が転換期を迎える中、第25期科学者委員会学術体制分科会において、資金、環境及び信頼等の社会的負託を受けて行う研究活動において担保すべき健全性と公正性について審議され、課題と対応に関する見解<sup>*1)</sup>が発出された。</p> <p>本分科会では、先端材料研究開発の健全かつ公正な推進を目的として、総論として示された本見解を、材料工学分野からの視座に落とし込み、本分野が直面する特有の課題として抽出し、機械工学委員会、電気電子工学委員会等とも連携しつつ、課題解決のために実現可能な対応策について審議する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学者委員会学術体制分科会（第25期）が発出した見解<sup>*1)</sup>における課題と対応に関する認識の共有</li> <li>2. 先端材料研究を中心とした材料工学分野において、資金や環境、信頼等の社会的負託を受けて行う研究活動の健全・公正化に向けた取組の現状把握及び課題抽出</li> <li>3. 関連分野とのシンポジウム等の開催</li> <li>4. 課題解決のための有効な対応<sup>*2)</sup></li> </ol> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年2月29日～令和8年9月30日
6	備考	*1) 科学者委員会学術体制分科会（第25期）見解「研究活動のオープン化、国際化が進む中での科学者コミュニティの課題と対応ー研究インテグリティの観点からー」

		<p>*2) 科学者委員会と情報共有し、具現化に向けた活動として、見解<sup>1)</sup>に対するフィードバックを行う。 ※令和8年度後半に見解等の意思の表出を検討</p>
--	--	---